

(注意) : 複数選択: 単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

**凡例** 入力項目分類 (数字は入力の優先順位)

1. 毎回入力項目 : 2重括弧 (毎回入力をしていただく項目)
2. 変更のみ入力項目 : 1重括弧 (前回からのデータ変更及びデータ追加があれば入力していただく項目)
3. 1回のみ項目 : 括弧なし (1回のみ入力すればよい項目)

## 日付項目

「不明」にチェックする場合 : プロジェクト開始以前のため、カルテ等で避れない場合のみにして下さい。  
 年月のみ判明している場合 : 年月は判明している情報を、日は「不明」を入力して下さい。

追加

1回の入力でシートを追加して入力可能

前回の内容をコピー

前回調査の入力をコピーして入力可能

**(疾患) アトピー性皮膚炎**

## 疾患の定義

日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎診療ガイドラインに基づき、医師によりアトピー性皮膚炎と診断されている。

または、すでにアトピー性皮膚炎と診断され、薬物治療等が行われている。

アトピー性皮膚炎診断基準 (Hanifin &amp; Rajka) を満たすもの。

日本皮膚科学会ガイドライン 日皮会誌 119(8),1515-1534,2009

診断日 [ ]年 [ ]月 [ ]日  不明

アトピー性皮膚炎診断基準 (Hanifin &amp; Rajka) を満たしますか。 ※別紙参照① カルテに記載があれば、入力してください。

 はい  いいえ  不明

## アレルギーの有無

食物  あり  なし  不明アナフィラキシー  あり  なし  不明

原因 ( )

金属  あり  なし  不明

前回の内容をコピー

SCORAD (SCORing Atopic Dermatitis) ※別紙参照② カルテに記載があれば、入力してください。

 あり  なし  不明

[ ]点 103点満点

## 重症度分類

Rajka and Langeland の基準 ※別紙参照③カルテに記載があれば、入力してください。

 重症 8~9 中等症 4.5~7.5 軽症 3~4 不明 9点満点

(注意)□:1つ以上複数選択

○:単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

## アトピー性皮膚炎診断基準 (Hanifin & Rajka)

アトピー性皮膚炎診断基準(Hanifin & Rajka)を満たす。

A) 以下の基本項目を3つ以上有すること

1. 痒痒
2. 典型的な皮疹の形態と分布  
成人では屈側部の苔癬化  
幼小児では顔面および伸側の皮疹
3. 慢性あるいは慢性再発性皮膚炎
4. アトピー(喘息, アレルギー性鼻炎, アトピー性皮膚炎)の既往または家族歴

B) さらに以下の小項目を3つ以上有すること

1. 乾皮症
2. 魚鱗癬, 手掌の多紋理, 毛孔性角化
3. 即時型皮膚試験反応陽性
4. 高IgE血症
5. 年少時発症
6. 皮膚感染症を発症する傾向(黄色ブドウ球菌や単純性疱疹)/ 細胞性免疫低下
7. 非特異的手または足の皮膚炎を発症する傾向
8. 乳頭湿疹
9. 口唇炎
10. 再発性結膜炎
11. Dennie-Morgan 下眼瞼皺襞
12. 円錐角膜
13. 前嚢下白内障
14. 眼瞼色素沈着
15. 顔面蒼白, 顔面紅斑
16. 白色粗糠疹
17. 前頸部皺襞
18. 発汗時痒痒
19. 羊毛および油脂溶媒に対する不耐性
20. 毛嚢周囲顕著化
21. 食物不耐性
22. 環境, 感情因子により影響されやすい経過
23. 白色皮膚描記症, 遅発蒼白反応

(注意) □: 1つ以上複数選択

○: 単一選択

文字列入力( )

数字入力[ ]

## SCORAD

SCORADによる重症度分類世界的に頻用されている重症度の評価方法

Severity Scoring of Atopic Dermatitis (SCORAD)

- A) 皮疹の範囲 (100点満点)  
 B) 皮疹の強さ (18点満点)  
 (紅斑、浮腫/丘疹、浸出液/痂皮、擦り傷、苔癬化、皮膚の乾燥)の項目 103点で評価  
 C) 自覚症状 (20点満点)

かゆみと睡眠障害を各10点満点で評価  $A/5 + (7 \times B)/2 + C$  で計算

範囲% (A) 2歳未満の小児では ( ) 内のパーセントを使用する。

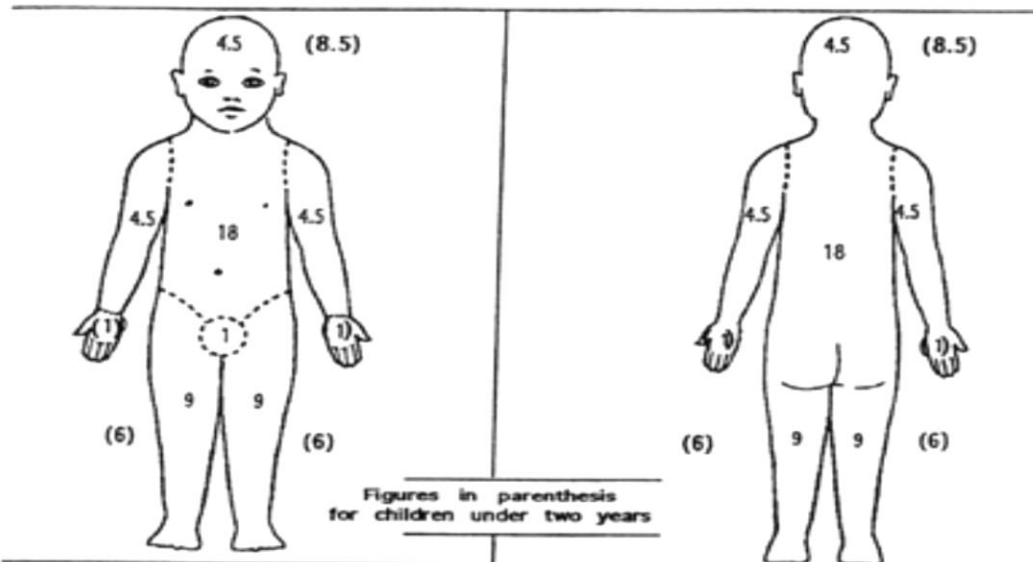


Figure in parenthesis for children under two years

皮疹の強さ (B) (0.なし 1.軽度 2.中等度 3.重度) で判定

紅斑 ( )

浮腫/丘疹 ( ) 皮疹の強さは各項目ずつ平均的な場所を

浸出液/痂皮 ( ) 選んで採点する。

擦り傷 ( )

苔癬化 ( )

皮膚の乾燥 ( ) (皮疹がない部分で採点する)

自覚症状 (C)

Itch

0 10

Sleep Loss

0 10

SCORAD  $A/5 + 7B/2 + C =$  \_\_\_\_\_

(注意) □: 1つ以上複数選択

○: 単一選択

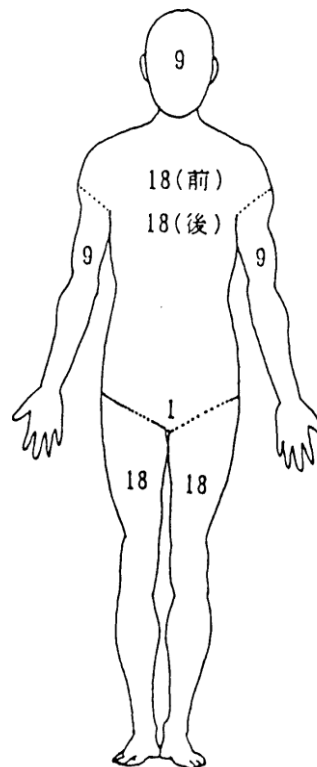
文字列入力( )

数字入力[ ]

## Rajka and Langeland による重症度分類

下記の①, ②, ③のスコアの合計より重症度判定を行う。

- ① 皮疹の範囲
- (ア) 小児期—成人期
- |                 |   |
|-----------------|---|
| 体表面積の 9%未満      | 1 |
| スコア 1 とスコア 3 の間 | 2 |
| 体表面積の 36%以上     | 3 |
- (イ) 幼児期
- |                 |   |
|-----------------|---|
| 体表面積の 18%未満     | 1 |
| スコア 1 とスコア 3 の間 | 2 |
| 体表面積の 54%以上     | 3 |
- ② 皮疹の経過
- |                  |   |
|------------------|---|
| ※ 1年のうち3か月以上症状なし | 1 |
| ※ 1年のうち3か月未満症状なし | 2 |
| 過去1年間症状継続中       | 3 |
- ③ 痒みの強度
- |                    |   |
|--------------------|---|
| 軽度のかゆみ、まれに睡眠を妨げられる | 1 |
| スコア 1 とスコア 3 の間    | 2 |
| 高度のかゆみ、いつも睡眠を妨げられる | 3 |



スコアの合計(①+②+③)

3~4	軽症
4.5~7.5	中等症
8~9	重症

スコア 1.5、2.5 : はっきりしない場合に用いる

アトピー性皮膚炎発症1年に満たない患者に適応させてもよい。

Rajka G, Langeland T: Grading of the severity of atopic dermatitis, Acta Derm Venereol Suppl. (Stockh),144:13-14, 1989. より引用、改変  
 日本皮膚科学会ガイドライン アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 参照